

山口大学大学院人間社会科学研究科

令和7年4月入学 学生募集概要

山口大学

○人間社会科学研究科の設置について

変革と課題山積の時代において、それら課題を発見し、人々の感情や心理、歴史的な経緯などを考慮に入れながら、倫理的な判断をも行う人文社会科学の役割が広く認められるようになりました。そして、人文社会、言語文化、心理、人間社会・環境などの諸科学を包摂する《人間社会科学》を探究し、人間存在に対する深い理解を有しながら、社会が抱える課題を解決できる人材が求められています。

そこで、人間科学、すなわち人文・社会・自然科学の主体たる「人間」を対象とし、これまでの人間の営為を研究する人文科学諸分野と、現在の人間社会をめぐる諸問題を研究する社会学、教育学、心理学、経済学、経営学等の社会科学分野、さらにデザイン学、データサイエンス等を相互に交流させることで、「人間」の生と社会の諸側面を探究する大学院の設置を予定しています。

【設置前】

研究科	専攻	コース・専修
人文科学	人文科学	思想研究
		歴史研究
		現代社会研究
		日本・中国言語文学研究
		欧米言語文学研究
教育学	学校臨床心理学	学校臨床心理学
経済学	経済学	経済社会政策
		公共管理
	経営学	中山間地マネジメント
		医療・福祉経営
		税務



【設置後】

	専攻	プログラム	系・コース
人間社会科学 研究科	人文科学	人文科学	思想研究
			歴史研究
			現代社会研究
			日本・中国言語文学研究
			欧米言語文学研究
臨床心理学	臨床心理学	臨床心理学	
経済学・ 経営学	経済学	経済学	経済社会政策
			公共管理
	経営学	経営学	中山間地マネジメント
			医療・福祉経営
共創科学※	人間文化創造	人間文化創造	多文化共生
			表像文化・デザイン
	人間社会創造	人間社会創造	データ理解・活用
			人間社会・環境

※新規開設

○山口大学大学院研究科のアドミッション・ポリシー

山口大学は、「山口大学憲章」に掲げる基本理念に基づき、大学院のディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）及びカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を定め、「発見し、はぐくみ、かたちにする」を実践し、地域、日本、世界に寄与できる人材の育成を目指している。そのために、次のような学生の入学を求めている。

●求める学生像

- ・ 「発見し、はぐくみ、かたちにする」を実践して理論的・実践的研究を遂行するために必要な専門的知識・技能及び意欲をもつ人
 - ・ 様々な視点から物事を論理的・批判的に考え問題解決につなげることができる人
 - ・ 豊かな人間性と社会性を備え、自律心と倫理観をもって他者と協働することができる人
- このような学生を適正に選抜するために、大学院の募集単位ごとに、多様な選抜を実施する。

○人間社会科学研究科のアドミッション・ポリシー

本研究科は、人と社会に関する学問分野や専門領域の研究をさらに深化させ、広い視野をもって地域、日本、世界に寄与できる人材を養成することを目標とする。そのため、各専門分野についての基礎学力があり、各分野における問題を掘り下げ、その解決に、学際的視点も含め、積極的に応えていく意欲のある学生を、広く受け入れる。

◆求める学生像

- ・ 人や社会に関する専門的な知識・技能に関心を持ち、研究を通して、より深くそれらを理解し学ぼうとする人
- ・ 優れたコミュニケーション力や多様な文化的背景を有する人々に関心を持ち、地域社会や国際社会の人々と協働しようとする人
- ・ 一人一人の人間が中心となる社会を目指し、社会における諸課題の解決のために自己研鑽の意欲を持つ人
- ・ グローバルで持続可能な共生社会の実現に向けて世界で活躍する意欲のある人

各専攻の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）、入試区分及び選抜方法は以下のとおりである。なお、いずれの入試においても、募集単位は「専攻」とする。

【人文科学専攻】

人文科学専攻では、人間文化の根本原理を探究し、その多様な展開について、人文科学の各分野の具体的な課題を自ら設定して解明できる人を養成することを目標とする。そのため、入学者選抜においては、人間文化の根本原理を探究し、その多様な展開について、思想、歴史、現代社会、日本・中国言語文学、欧米言語文学の各分野において深く解明する意欲と能力を持つ者を総

合的に判断して受け入れる。

◆求める学生像

- ・ 専攻する学問分野について学士課程修了相当の知識を有し、幅広い視点から深く洞察し、これを論理的に展開したいと考える人
- ・ 他者とコミュニケーションを積極的に協働し、世界諸地域の間文化の固有性と普遍性の探究をさらに深めたいと考える人
- ・ 複雑な人間社会における諸課題の解決に寄与し、自らの研究テーマについて口頭や文章によって的確に表現できる人
- ・ 高度な知識・分析力・判断力及び研究成果により、持続可能な共生社会を目指し、研究者やその他の専門的な業務の従事者として活躍したいと考える人

以上のような観点から、専攻の入学受入方針（アドミッション・ポリシー）に従った入学試験を、次の入試区分及び選抜方法により実施する。

①一般入試

筆記試験（専門科目・小論文）、口述試験により判定する。

《評価基準》

筆記試験（専門科目）：志望するコースに関する科目を課し、専門の研究に外国語を必要とする場合は、その言語を問題の一部に含めて課すことがある。筆記試験（専門科目）では、研究を遂行するための専門的知識・技能を評価する。

筆記試験（小論文）：特定の専門分野に偏った問題ではなく、より一般的・教養的な内容の問題を課し、批判的思考力と日本語運用能力を評価する。

口述試験：志望するコースに関し、基礎的学力、志望理由等を問い、専門的知識、研究遂行に必要な批判精神と教養、研究者倫理と協調性等を総合的に評価する。

アドミッション・ポリシーとの関係性

選抜内容	理論的・実践的研究を遂行するために必要な専門的知識・技能	物事を論理的・批判的に考え問題解決につなげることができる能力	豊かな人間性、社会性、倫理性と協働性の兼備
筆記試験	◎	○	
口述試験	◎	○	○

【臨床心理学専攻】

臨床心理学専攻では、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の各領域及び地域社会において、人々の個性を踏まえながら、心の健康の保持増進に寄与する責務を深く自覚し、臨床心理学の専門的かつ高度な資質を備えた専門的職業人を養成することを目標とする。そのため、入学者選抜においては、心理学（心理統計学を含む）や臨床心理学に関する専門的素養、研究に対する意欲と基礎能力を持つ者を総合的に判断して受け入れる。

◆求める学生像

- ・ 現代の地域社会が抱える様々な課題について複眼的に探究する意欲を有する人
- ・ 専門的職業人として、実践力を有している人
- ・ 心理学及び臨床心理学に関する高度な理論的・実践的研究に意欲を有する人
- ・ 自己研鑽を積み、人々の個性を踏まえて、心の健康の保持増進に寄与及び支援についての基本的資質を有する人

以上のような観点から、専攻の入学者受入方針（アドミッションポリシー）に従った入学試験を、次の入試区分及び選抜方法により実施する。なお、定員は下記の入試（①一般入試及び②外国人留学生入試）をあわせて6名とする。

①一般入試

筆記試験（外国語（英語）・専門科目（心理学・臨床心理学））、口述試験により判定する。

《評価基準》

筆記試験（外国語（英語））：外国語（英語）の読解問題を課し、外国語（英語）文献を通して学ぶための基礎能力を評価する。

筆記試験（専門科目）：心理学（心理統計学を含む）及び臨床心理学の知識及び理解力を問う問題を課し、理論的・実践的研究を遂行するために必要な専門的知識・技能を評価する。

口述試験：入学後の研究計画やこれまでの研究概要などを問い、理論的・実践的研究を遂行するために必要な専門的知識・技能、及び物事を論理的・批判的に考え問題解決につなげることができる能力ならびに豊かな人間性、社会性、倫理性と協働性を兼備しているかを評価する。

アドミッション・ポリシーとの関係性

選抜内容	理論的・実践的研究を遂行するために必要な専門的知識・技能	物事を論理的・批判的に考え問題解決につなげることができる能力	豊かな人間性、社会性、倫理性と協働性の兼備
筆記試験	◎		
口述試験	◎	○	◎

②外国人留学生入試

筆記試験（外国語（英語）・専門科目（心理学・臨床心理学））、口述試験により判定する。なお、日本語能力に関する要件として、日本留学試験の日本語を受験し、「読解」「聴解・聴読解」の合計点が240点以上、「記述」は30点以上の成績を修めていること、または日本語能力試験を受験し、N1の認定を受けていることとする。

《評価基準》

筆記試験（外国語（英語））：外国語（英語）の読解問題を課し、外国語（英語）文献を通して学ぶための基礎能力を評価する。

筆記試験（専門科目）：心理学（心理統計学を含む。）及び臨床心理学の知識及び理解力を問う問題を課し、理論的・実践的研究を遂行するために必要な専門的知識・技能を評価する。

口述試験：入学後の研究計画やこれまでの研究概要などを問い、理論的・実践的研究を遂行するために必要な専門的知識・技能、及び物事を論理的・批判的に考え問題解決につなげることができる能力並びに豊かな人間性、社会性、倫理性と協働性を兼備しているかを評価する。

アドミッション・ポリシーとの関係性

選抜内容	理論的・実践的研究を遂行するために必要な専門的知識・技能	物事を論理的・批判的に考え問題解決につなげることができる能力	豊かな人間性、社会性、倫理性と協働性の兼備
筆記試験	◎		
口述試験	◎	○	◎

【経済学・経営学専攻】

経済学・経営学専攻では、経済社会の活動に伴って生起する諸問題を認識し、それらを解決するための具体的な方法を考え出すことができる研究者やその他の専門的な業務の従事者を養成することを目標とする。そのため、入学者選抜においては、今日の現代社会の基本的な諸問題に深い関心を持ち、経済あるいは経営に関する総合的理解を深めるとともに専門的知識を身につける意欲と基礎能力を持つ者を総合的に判断して受け入れる。

◆求める学生像

- ・ 国際及び地域経済、企業経営、企業法務など今日の現代社会の基本的な諸問題に深い関心を持っている人
- ・ 経済あるいは企業経営に関する総合的理解を深めるとともに専門的知識を身につけ、研究者やその他の専門的な業務の従事者を目指し、将来、大学院博士課程に進む意欲を持つ人
- ・ 地域社会及び地方自治体において地域の活性化と再生に積極的に関わろうと考えている人
- ・ 経済や企業経営を学び、国際的な舞台で活躍することを考えている人

以上のような観点から、専攻の入学受入方針（アドミッション・ポリシー）に従った入学試験を、次の入試区分及び選抜方法により実施する。なお、定員は下記の入試（①一般入試～⑥学術交流協定に基づく渡日前入試）をあわせて22名とする。

①一般入試

筆記試験（論文）、口述試験により判定する。

《評価基準》

筆記試験（論文）：志望研究科目についての筆記試験（論文）を課し、研究を遂行するために必要な専門的知識を有しているかを評価する。

口述試験：志望研究科目についての理解、志望理由等を問い、研究を遂行するために必要な意欲と基礎能力を有しているかを評価する。

アドミッション・ポリシーとの関係性

選抜内容	理論的・実践的研究を遂行するために必要な専門的知識・技能	物事を論理的・批判的に考え問題解決につなげることができる能力	豊かな人間性、社会性、倫理性と協働性の兼備
筆記試験	◎		
口述試験	◎	○	○

②推薦入試

推薦要件を満たした上で、口述試験により判定する。

《評価基準》

口述試験：志望研究科目についての理解、志望理由等を問い、研究を遂行するために必要な意欲と基礎能力を有しているかを評価する。

アドミッション・ポリシーとの関係性

選抜内容	理論的・実践的研究を遂行するために必要な専門的知識・技能	物事を論理的・批判的に考え問題解決につなげることができる能力	豊かな人間性、社会性、倫理性と協働性の兼備
口述試験	◎	○	○

③社会人入試

2年以上の社会人経験等を出願資格とし、筆記試験（小論文）、口述試験により判定する。

《評価基準》

筆記試験（小論文）：志望研究科目についての筆記試験（小論文）を課し、研究を遂行するために必要な専門的知識を有しているかを評価する。

口述試験：志望研究科目についての理解、志望理由等を問い、研究を遂行するために必要な意欲と基礎能力を有しているかを評価する。

アドミッション・ポリシーとの関係性

選抜内容	理論的・実践的研究を遂行するために必要な専門的知識・技能	物事を論理的・批判的に考え問題解決につなげることができる能力	豊かな人間性、社会性、倫理性と協働性の兼備
筆記試験	◎		
口述試験	◎	○	○

④学部3年次生を対象とする入試

大学3年次に在学するもので、大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得見込みの者とし、筆記試験（論文）、口述試験により判定する。

《評価基準》

筆記試験（論文）：志望研究科目についての筆記試験（論文）を課し、研究を遂行するために必要な専門的知識を有しているかを評価する。

口述試験：志望研究科目についての理解、志望理由等を問い、研究を遂行するために必要な意欲と基礎能力を有しているかを評価する。

アドミッション・ポリシーとの関係性

選抜内容	理論的・実践的研究を遂行するために必要な専門的知識・技能	物事を論理的・批判的に考え問題解決につなげることができる能力	豊かな人間性、社会性、倫理性と協働性の兼備
筆記試験	◎		
口述試験	◎	○	○

⑤外国人留学生入試

筆記試験（専門科目）、口述試験により判定する。なお、日本語能力に関する要件として、日本留学試験の日本語を受験し、「聴解・聴読解」「読解」の合計点が230点以上、「記述」は33点以上の成績を修めていること、または日本語能力試験を受験し、N1の認定を受けていることとする。

《評価基準》

筆記試験（専門科目）：志望研究科目についての筆記試験（専門科目）を課し、研究を遂行するために必要な専門的知識を有しているかを評価する。

口述試験：志望研究科目についての理解、志望理由等を問い、研究を遂行するために必要な意欲と基礎能力を有しているかを評価する。

アドミッション・ポリシーとの関係性

選抜内容	理論的・実践的研究を遂行するために必要な専門的知識・技能	物事を論理的・批判的に考え問題解決につなげることができる能力	豊かな人間性、社会性、倫理性と協働性の兼備
筆記試験	◎		
口述試験	◎	○	○

⑥学術交流協定に基づく渡日前入試

学術交流協定校を卒業若しくは卒業見込みの者等を出願資格とし、申請書類及び面接等により判定する。なお、日本語能力に関する要件として、日本留学試験の日本語を受験し、「聴解・聴読解」「読解」の合計点が230点以上、「記述」は33点以上の成績を修めていること、または日本語能力試験を受験し、N1の認定を受けていることとする。

アドミッション・ポリシーとの関係性

選抜内容	理論的・実践的研究を遂行するために必要な専門的知識・技能	物事を論理的・批判的に考え問題解決につなげることができる能力	豊かな人間性、社会性、倫理性と協働性の兼備
申請書類	◎		
面接	◎	○	○

【共創科学専攻】

共創科学専攻では、学問分野や専門領域の枠を超えた総合的研究力を駆使して、多様かつ変容著しい現代社会の課題に広い視野をもって解決に導く人材を養成することを目標とする。そのため、入学者選抜においては、複合的な領域について学び、論理的かつ柔軟な思考で持続可能な社会の実現に向けて努力する意欲と基礎能力を持つ者を総合的に判断して受け入れる。

◆求める学生像

- ・ 社会課題に関心を持ち、人と社会に関する分野や専門領域の枠組みを超えた研究を基に、より深くそれらを理解し学ぼうとする人
- ・ 多様な文化的背景を有する人々とのコミュニケーションに関心を持ち、地域社会や国際社会の人々と協働することに意欲のある人
- ・ 多様な専門知やデザイン思考、データサイエンスを修得し、それらを統合して新たな価値を社会に生み出そうとする人
- ・ グローバルな視点で持続可能な共生社会の実現を目指し、修得した知識・技術・能力を駆使して国内外で活躍しようとする人

以上のような観点から、コースの入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に従った入学試験を、次の入試区分及び選抜方法により実施する。

① 一般入試

出願書類及び学力検査（筆記試験・口述試験）の結果を総合して判定する。

《評価基準》

筆記試験：専門的知識、論理的思考力を総合的に評価する。

口述試験：専門的知識、表現力、論理的思考力、協働性、勉学意欲について総合的に評価する。

アドミッション・ポリシーとの関係性

選抜内容	理論的・実践的研究を遂行するために必要な専門的知識・技能	物事を論理的・批判的に考え問題解決につなげることができる能力	豊かな人間性、社会性、倫理性と協働性の兼備
筆記試験	◎		
口述試験	◎	○	○

I 入学者選抜の概要

1. 選抜方法

推薦入試による選抜，外国人留学生試験，一般入試及び社会人特別入試等があります。専攻によって選抜方法が異なりますので，志望する専攻・コースの選抜方法を必ず確認してください。

2. 専攻別入学試験の実施時期

(1) 人文科学専攻※1

① 一般入試・社会人特別入試・外国人留学生試験

出願期間	試験日程	合格発表日
令和6年10月 7日(月) ～ 10月 11日(金)	令和6年11月13日(水)	令和6年 11月 27日(水)

(2) 臨床心理学専攻※2

① 一般入試・外国人留学生入試

回数	出願期間	試験日程	合格発表日
第1回	令和6年9月13日(金) ～9月20日(金)	令和6年10月24日(木)	令和6年 11月 6日(水)
第2回	令和7年1月8日(水) ～ 1月14日(火)	令和7年 2月13日(木)	令和7年 3月 6日(木)

(3) 経済学・経営学専攻※3

① 推薦入試※3※4

出願期間	試験日程	合格発表日
令和6年10月1日(火) ～10月 7日(月)	令和6年10月30日(水)	令和6年 11月 29日(金)

② 一般入試・社会人特別入試※4・外国人留学生試験※4

回数	出願期間	試験日程	合格発表日
第1回	令和6年10月1日(火) ～10月7日(月)	令和6年10月30日(水)	令和6年 11月 29日(金)
第2回	令和7年1月6日(月) ～ 1月10日(金)	令和7年 2月5日(水)	令和7年 2月 28日(金)

③ 学部3年生を対象とする入試※4

出願期間	試験日程	合格発表日
令和7年1月6日(月) ～ 1月10日(金)	令和7年 2月5日(水)	令和7年 2月 28日(金)

(4) 共創科学専攻

① 一般入試

回数	出願期間	試験日程	合格発表日
第1回	令和6年10月1日(火) ～10月10日(木)	令和6年11月7日(木)	令和6年12月5日(木)
第2回	令和7年1月7日(火) ～1月14日(火)	令和7年2月14日(金)	令和7年3月10日(月)

※1 人文科学専攻では、すべての入試区分を同一入試区分として同一日に実施します。

※2 臨床心理学専攻では、第1回の入試で募集人員に達した場合は、第2回の入試を実施しません。

※3 経済学・経営学専攻では、入試区分によって、対象となるコースが異なります。

詳細は、経済学・経営学専攻の募集要項にてご確認ください。

※4 経済学・経営学専攻の推薦入試・社会人入試・学部3年生を対象とする入試及び外国人留学生試験の募集人員数は、すべて若干名になります。

II 専攻別募集人員

	専攻	プログラム	系・コース	募集人員※ 令和7年4月入学
	人間 社会 科学 研究 科	人文科学	人文科学	思想研究
歴史研究				
現代社会研究				
日本・中国言語文学研究				
欧米言語文学研究				
臨床心理学		臨床心理学		6
経済学・経営学		経済学	経済社会政策	22
			公共管理	
		経営学	中山間地マネジメント	
			医療・福祉経営	
共創科学	人間文化創造	多文化共生	6	
		表像文化・デザイン		
	人間社会創造	データ理解・活用		
		人間社会・環境		

※ 令和7年4月入学対象における募集人員は、前出 I-2 専攻別入学試験の実施時期に記載された各専攻別入試区分の合計になります。

専攻によって、対象となる入試区分が異なりますので、専攻別募集要項にてご確認ください。